

# グローバル時代の 社会的責任を考える ～今、労働組合が取り組む理由～

金属労協では2002年に「企業行動規範に関する金属労協議長見解」を発表、2004年には「CSR(企業の社会的責任)推進における労働組合の役割に関する提言」を策定し、経営側との協議を重ね、労使セミナーやワークショップを国内外で開催するなど粘り強く取り組んできた。

15年が経過した今、過去の取り組みを検証する。また、国連が定めた新たな目標「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択され、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を真近に控えていることから、CSRの重要性が再認識されている状況の中、なぜ再び労働組合がCSRに取り組むのか、その理由を考察する。

